

揖斐川町合併記念文化フェスタ 「オーケストラと楽しもう」開催

一月二十二日（日）谷汲サンサンホールで谷汲・久瀬・藤橋・坂内中学校を対象に、二月十九日（日）揖斐川町中央公民館大ホールで春日・北和・揖斐川中学校を対象に、揖斐川町合併記念文化フェスタ「オーケストラと楽しもう」が開催されました。

岐阜県交響楽団を招いてクラシック音楽の鑑賞や「指揮者体験コーナー」においてオーケストラの指揮の体験、また、オーケストラの演奏にあわせての合唱が行われ、参加した生徒たちは、すばらしい体験をすることができました。



オーケストラの演奏にあわせて合唱

CAP（子どもの暴力予防教室） ワークシヨップ

三月七日から九日に揖斐川子育て支援センターの援助で、子どもがあらゆる権力の濫用（いじめ、虐待、誘拐、痴漢など）から自分を守るための人権教育プログラム（CAPワークシヨップ）を久瀬、藤橋、坂内の三保育園合同で行いました。

子どもが自分の権利を守る事で『安心自信自由』を獲得し、自分を大切にして生きていく方法を教えてもらいました。

保護者対象と園児プログラムがセットで行われ「親として参考になりました、毎年受けられると良いですね。」の声もありました。



子どもワーク

かすが保育園の園歌発表会をしました

三月九日（木）、待望の園歌ができあがり、保護者や地域の方々をたくさん迎えて発表会を行いました。

平成十二年四月に、近年の過疎化に伴う乳幼児数の減少から春日保育所、美東保育所、六合保育所（古屋保育所は廃所）が統合され、現在の「かすが保育園」が誕生しました。

これまで保育園に園歌がなく寂しい思いをしていたので、合併で揖斐川町立かすが保育園になり、巣立ち行く卒園式に、「かすが保育園園歌」を歌いたいとの願いから、作詞は職員で、作曲は揖斐川町在住の音楽家森三恵子先生にお願いしました。♪おさんぽだいすきらんらんらんらん…♪軽快で素敵な歌ができあがり、参加者全員笑顔で歌いました。これから卒園式、入園式など、保育園の行事で大切に歌っていききたいです。



園歌を披露しました

おじま幼児園に鼓笛楽器が 導入されました

このたび、おじま幼児園に鼓笛用の楽器が導入されました。

この鼓笛セットは、（財）日本防火協会の防火・防災普及啓発推進事業の一環として、宝くじの助成金を活用して整備したもので、町の行事などで練習の成果を披露していきます。

これからの、おじま幼児園の子どもたちによる鼓笛隊の活躍に期待してください。



鼓笛楽器がそろいました

このページではみなさまからの情報をお待ちしています。

身近な地域の出来事・話題を揖斐川町役場総務課人事広報係、または各振興事務所振興課振興係までお寄せください。

長寿おめでとうの心もち

二月十二日(日)、谷汲名礼の六ツ名静子さんが百歳の誕生日を迎えられました。

また二月十二日(日)、日坂の小林周さんが、二月二十八日(火)、市場の小椋雪子さんが、三月五日(日)に乙原の高橋つねさんが九十五歳の誕生日を迎えられました。

ご長寿について、六ツ名さんは何事にも前向きでよくよせず、昔から生活、食べ物などすべてのことについて気をつけてこられたことが良かったそうです。

小椋さんは現在も大変お元気で、毎日畑で野菜を作ったり、家事を何でもこなされ、一日中動いていることが良いと話されました。

高橋さんは、何でも好き嫌いなく、なんでも食べられ、食べることに常に感謝されているそうです。

百歳、九十五歳を迎えられた皆さんには、長寿の祝と褒賞金が贈られました。これからもお元気で長生きしてください。



100歳を迎えられた六ツ名静子さん



95歳を迎えられた高橋つねさん



95歳を迎えられた小椋雪子さん



95歳を迎えられた小林周さん

豊年祈願祭 勇壮華麗な舞を披露

二月十八日(土)に谷汲徳積地内において岐阜県重要無形文化財に指定されている「谷汲踊」が披露されました。この踊りは平家滅亡のときに勝利を祝って源氏の武士が踊ったのが始まりとされており、今では雨乞いや豊年を祈願し踊られています。

当日は十人の太鼓打ちが胸元に吊るした大太鼓を打ち鳴らし、背負った「シナイ」を豪快に揺さぶって踊り、鮮やかで勇壮なこの舞を一目見ようと約二万人の観光客が詰め掛けました。

スノーバトルクロス大会

二月十九日(日)、揖斐高原日坂第二ゲレンデで、スノーバトルクロス大会が行われました。

スノーバトルクロスとは、スキー、スノーボードをはずした状態で地面に伏せて待機スタートと同時に板を装備してコースインし、競うものです。

スキー、スノーボードの各男女四部門で熱戦が繰り広げられました。



素晴らしい滑り



谷汲踊を披露

協働のまちづくりを目指して！

揖斐川町行政改革推進委員会が行政改革大綱を答申

二月二十四日（金）、行政改革推進委員会から宗宮町長へ、揖斐川町行政改革大綱の答申がなされました。

同委員会では、平成十七年九月から、町長の諮問を受け、組織や事務事業などの見直しについて慎重に審議が行われてきました。

答申においては、改革事項だけでなく、樋口直嗣委員会会長から、「改革大綱は作成することが目的ではなく、着実に実行することが大切です。住民とともに積極的に改革を行うことを希望します。」と、委員会意見もあわせて頂きました。

揖斐川町では、この答申を基に、平成二十一年度までの「揖斐川町行政改革大綱」を作成し、ホームページなどで公表を行っていきます。

若者政策提案事業

学習発表会
久瀬中学校

二月十四日（火）、久瀬中学校で「若者政策提案事業」の一環で取り組んできた提案の発表会が行われました。

「若者政策提案事業」とは地域の産学官の連携で「人づくり」の推進を目指す西濃地域振興局の事業です。

久瀬中学校では、「すべての人が共に生きる社会をつくるために、自分はどう行動するかを福祉の視点で考える」をテーマに岐阜経済大学の山田先生とともに研究してきました。三人の代表の生徒が実技やアンケートの結果を取り入れ堂々と発表しました。

この研究の成果が今後生かされることが期待されます。



立派な発表がされました



行政改革大綱の答申を行う樋口委員会会長

「自然と歴史が育む

ふれあいと活力のある健康文化都市」を目指して

揖斐川町計画審議会が総合計画案を中間答申

二月二十四日（金）、揖斐川町第一次総合計画の基本構想案が、計画審議会（樋口直嗣会長）より宗宮町長に答申されました。

基本構想案は、「自然と歴史が育む ふれあいと活力のある健康文化都市」を将来像に、

①人と自然が共生する快適なまち

②健康で思いやりに満ちた文化の薫るまち

③ふれあい豊かな活力に満ちたまち

④住民とともに考え、新たな地域づくりを実践するまち

の四つを目標にしています。答申された基本構想案は、平成十八年三月の議会に上程され、可決されました。今後、この基本構想に沿って、住民の視点で、住民とともに新しいまちづくりを進めていきます。

なお、計画審議会では、引き続き審議を進め、平成十八年度中に具体的な施策を盛り込んだ基本計画案について答申する予定です。

全国ホープス選抜卓球大会出場

このたび、大和小学校三年の竹中宏旭さんが、全国ホープス選抜卓球大会への出場を決め、宗宮町長へ報告に訪れました。

この大会は三年生以下、四年生以下、五年生以下、六年生以下二組の一チーム五名の各都道府県の代表選手で戦われ、竹中さんは岐阜県の代表選手に選ばれました。

竹中さんは、「自分の全力を尽くして、あきらめず最後まで試合を戦いたい。」と抱負を述べました。

大会での健闘をお祈りします。



竹中さん頑張ってください



総合計画案の中間答申を受ける宗宮町長